

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年3月2日
大阪管区気象台

近畿地方の今冬及び2月は記録的な多照となりました。

近畿地方の今冬（2020年12月～2021年2月）及び2月は、記録的な多照となり、今冬は1946～47年冬の統計開始以来、2月は1946年の統計開始以来、ともに地域平均日照時間が多い方から第1位となりました。

1 冬の天候とその要因

- ・12月から1月中頃にかけて、冬型の気圧配置が強まった時期があり、日本海側では沿岸部を中心に曇りや雪または雨の日が多く（日照時間は、12月は平年並、1月上旬はかなり多い）、太平洋側では晴れた日が多くなりました。
- ・その後、2月にかけては、寒気の南下が弱く、冬型の気圧配置は長続きしませんでした。天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われやすく、日本海側、太平洋側ともに晴れた日が多くなりました。
- ・これらによって、今冬及び2月は記録的な多照となりました。また、冬の後半は暖かい日が多く、近畿地方の2月の平均気温は、1946年の統計開始以来、高い方から第2位となりました。

2 近畿地方の冬の日照時間

地域平均日照時間の多い方からの順位

近畿地方各気象台の今冬の日照時間

順位 (高い方から)	平年比 ^{※1} (%)	西暦年	観測点	実況値(時間) (※2)	平年値 (時間)	平年比 (%)
1位	125	2021	彦根	392.6(第4位)	318.5	123
2位	117	2004	京都	491.4(第1位)	377.0	130
3位		1983	大阪	552.6(第1位)	430.5	128
4位	116	2018	神戸	556.1(第1位)	460.2	121
5位		1997	奈良	473.5(第1位)	360.1	131
			和歌山	493.6(第4位)	418.2	118

平年値は、1981年～2010年の資料から求めています。

- ※1 平年比：近畿地方のデータは、11地点（彦根、京都、舞鶴、大阪、神戸、豊岡、姫路、洲本、奈良、和歌山、潮岬）を平均した値です。なお、2021年の値は速報値です。そのため、後日変更となる場合があります。
- ※2 各地点における冬の日照時間の統計開始以来の多い方からの順位を表しています。
統計開始年：彦根（1894～95年冬）、京都（1890～91年冬）、大阪（1889～90年冬）、神戸（1897～98年冬）、奈良（1953～54年冬）、和歌山（1889～90年冬）

3 近畿地方の2月の月間日照時間

地域平均日照時間の多い方からの順位

近畿地方各気象台の2021年2月の月間日照時間

順位 (高い方から)	平年比 ^{※3} (%)	西暦年	観測点	実況値(時間) (※4)	平年値 (時間)	平年比 (%)
1位	143	2021	彦根	149.3(第6位)	110.9	135
2位	140	2004	京都	160.5(第5位)	117.4	137
3位	134	1983	大阪	189.3(第1位)	135.4	140
4位	131	2018	神戸	194.3(第1位)	141.9	137
5位	128	1980	奈良	168.1(第1位)	115.5	146
			和歌山	191.7(第1位)	141.0	136

平年値は、1981年～2010年の資料から求めています。

※3 平年比：近畿地方のデータは、11地点（彦根、京都、舞鶴、大阪、神戸、豊岡、姫路、洲本、奈良、和歌山、潮岬）を平均した値です。なお、2021年の値は速報値です。そのため、後日変更となる場合があります。

※4 各地点における2月の月間日照時間の統計開始以来の多い方からの順位を表しています。
統計開始年：彦根（1895年）、京都（1890年）、大阪（1890年）、神戸（1898年）、奈良（1954年）、和歌山（1890年）

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 担当 中江・藤原

電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160